

2022 まちづくりワークショップ@安城

in 本證寺

未来寺子屋

6月

6月18日（土）に、令和4年度「第3回未来寺子屋」を開催しました。今回は、これまで未来寺子屋から結成されたプロジェクトチームの今後の活動活性化のヒントを探るため、先進活動地視察として名古屋市東別院暮らしの朝市と愛西市の森川花はす田を訪れました。

【本日のテーマ】先進活動地視察Vol.1 東別院と愛西市

東別院（名古屋市）では、暮らしの朝市実行委員会の宮田さんに暮らしの朝市流の運営術についてうかがいました。また森川花はす田（愛西市）では、愛西市観光協会の加藤さんと協働管理者の大橋さんにハスの名所におけるハス生育に対する考え方をうかがいました。



▲東別院暮らしの朝市の様子
当日も約140店舗が出店して大盛況

暮らしの朝市のコンセプトとは…？

単なるお祭りの出店ではなく、みんなが楽しめる暮らしに寄り添った手作りのものを販売する。

そもそも暮らしの朝市とは…？

甚目寺観音てづくり朝市（あま市）から始まり、東別院暮らしの朝市（名古屋市）、みんな暮らしの朝市（津島市）に展開しています。

甚目寺観音てづくり朝市 …約50店舗

東別院暮らしの朝市 …約140店舗

みんな暮らしの朝市…約20店舗

先進活動地視察
東別院暮らしの朝市

コレが暮らしの朝市流！

★出店申込みは年1回限りで、通年で出店

※出店料は一括ではなく出店する毎に徴収

★店舗設置場所の目印は基本的に設置しない

※新年度のみマーカーコーンを部分的に設置

★出店料は運営本部テントにて徴収

視察参加者の声

- ・東別院のマルシェは出店数の多さや若い女性客の多いこと、少ないスタッフでの運営等が参考になりました。
- ・主催者の負担が少ないスマートな運営方法は是非「きょうえんいち」にも取り入れたいと思いました。



▲暮らしの朝市実行委員会の宮田さんから説明をいただきました。